

「財政教育プログラム」の実施

日本の財政を通じて社会に対して興味を持ち、自分たちの国の将来を考えてもらうため「財政教育プログラム」を実施しています。当プログラムは、グループで話し合いながら国の予算編成シミュレーションを体験できる特別授業です。

概要

○「財政教育プログラム」の実施例(2コマの場合)

楽しく学べる

講義

- 1 「日本の未来を考える」をテーマに財政に関する基礎を学びます。

40min

グループワーク

- 2 生徒たちが意見交換をしながら予算を編成します。考える力や協調性が育まれます。

30min

発表

- 3 グループワークでの予算編成結果を通して、生徒たちが思い描く未来のかたちを発表します。

30min

※2コマの確保が困難な場合、1コマや2週に分けてなど、要望に沿って対応。

日本村の予算をつくらう！ ①手引き

日本村の予算は実際の日本の予算をベースに、予算100万円とした場合の内訳を仮定している。



【使用教材の例】



【グループワークの様子】

○実施方法の多様化

税務署(租税教室)や地方公共団体など他機関との連携やリモート形式による実施など、学校の要望を踏まえながら多様な方法で当プログラムを展開しています。

取組実績

《特徴的な事例》

○フューチャーデザインを取り入れた財政教育プログラム

盛岡財務事務所は、連携先である岩手県矢巾町がまちづくりに活用している「フューチャーデザイン」の考え方を財政教育プログラムに取り入れ、県内の中学生、高校生等を対象に実施しています。

グループワークでは、「2050年の未来人」の目線で国の予算を考えました。



【グループワークの様子】

今後の展開

高校では、令和4年度から必修科目として「公共」の授業が開始され、日本の財政を学ぶことの重要性が増しています。引き続き、当プログラムの実施に取り組んでいきます。



【PR用パンフレット】